

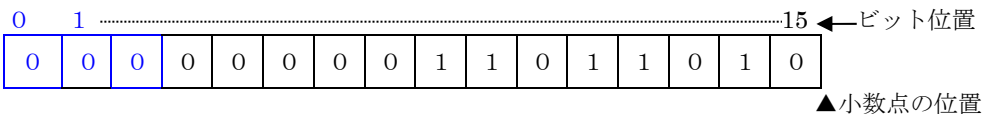
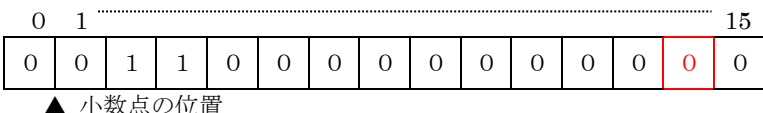
情報処理基礎講座

『コンピュータシステムの基礎 第6版』

正誤情報・補足情報

本書において編集上の誤りがありましたので、お詫びして下記のとおり訂正させていただきます。
また、補足情報を併せて掲載させていただきます。

対象版刷【第1刷／第2刷】共通

該当箇所		誤（赤字）or 変更前	正（青字）or 変更後
p.15	囲み枠 例 1) 最下行	よって、1541 ₍₁₀₎ はゾーン10進数では～	よって、1541 ₍₁₀₎ はパック10進数では～
p.19	囲み枠(1)	<p>誤</p>  <p>正</p> 	
	囲み枠(2)	<p>誤</p>  <p>正</p> 	
p.73	囲み枠・上 最下行	$32 = 2^6$ なので、 <u>r = 6</u> となる。	$32 = 2^5$ なので、 <u>r = 5</u> となる。
p.83	囲み枠・ 1行目	事象Pが発生する確率がP(E)の時、～	事象Eが発生する確率がP(E)の時、～
p.161	全体	割り込み	割り込み
	6～7行目	大別すると内部割り込みと外部割り込みの2つに大別できる。	内部割り込みと外部割り込みの2つに大別できる。
p.181	(3) 項番	(3) 入出力制御の方式	(2) 入出力制御の方式
p.182	(4) 項番	(4) デバイスドライバ	(3) デバイスドライバ
p.189	最下行	…印字を被衝撃的方法によって行う。	…印字を非衝撃的方法によって行う。
p.206	下9行目	～プログラムをサーバを用意します。	～プログラムをサーバに用意します。
p.214	下7～6行目	結果を比較照合しながら処理を進めるシステムである。	結果を比較照合（クロスチェック）しながら処理を進めるシステムである。
p.223	(a)の説明文	システムの一部が故障してもシステム全体はダウンせず、性能は低下するが、ある程度の処理は遂行できるシステムのことである。	システムの一部が故障してもシステム全体はダウンしないシステムのことである。また、システムの一部が故障しても、サービスのレベルを低下させて継続維持（縮退運転）することをフォールバックと呼ぶ。

該当箇所		誤（赤字）or 変更前	正（青字）or 変更後
p.228	囲み枠 MTBF	MTBF = 正常動作している総時間 ÷ 稼働回数	MTBF = 正常動作している総時間 ÷ 故障回数
p.230	4 行目	～初期故障などが発生する区間で、	～初期故障などが発生する区間（初期故障）で、
	5～6 行目	～安定した稼働が行われる区間で、	～安定した稼働が行われる区間（偶発故障）で、
	6～7 行目	～故障が増加することになる区間である。	～故障が増加することになる区間（摩耗故障）である。
p.233	8 行目	ダイオードな電子素子と呼ばれる～	ダイオードなどの電子素子と呼ばれる～
p.300	3～4 行目	格納する作業ことをロードという。	格納する作業のことをロードという。

(2019.09.05／2120-2s-4)

以 上